

## 令和6年度 北海道札幌国際情報高等学校 部活動に係る活動方針

- 基本方針 校訓「誠実・友愛・創造」の精神を踏まえ、幅広い知識と教養、豊かな人間性、健やかな身体を備えた人物を育成する。
  - ◇ 生徒 学習、部活動、生活時間等のバランスに配慮した部活動の実践
  - ◇ 教員 仕事と家庭生活の充実を図る部活動指導の実践
  - ◇ モットー 調和 効率性 主体性

### □ 適切な運営のための体制整備

- ・ 各部活動顧問が年間の活動計画(活動日、休養日、活動時間等及び参加予定大会等)並びに毎月の活動計画及び活動実績、部員名簿を作成し管理職に提出(道教委へ提出)
- ・ 年間活動計画及び月間活動計画については、生徒・保護者に配布
- ・ 部活動顧問の複数配置(練習時間等弾力的運用の緩和条件)
- ・ 部活動顧問会議の開催
- ・ 外部指導者の活用
- ・ 管理職による部活動視察を不定期に実施
- ・ 要望・相談窓口の設置(担当者・連絡先のHP掲載)

### □ 合理的かつ効率的・効果的な活動の推進

- ・ 心身の健康管理、事故防止(施設設備点検等)及び体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・ 顧問不在時における無理のない安全な練習内容を提示するなど、安全配慮義務の徹底
- ・ 部活動顧問に対する指導、助言及び研修等の実施、部活動用指導手引の活用
- ・ 顧問、選手等に心肺蘇生法やAED使用の研修を受講させるなど危機管理体制の徹底

### □ 適切な休養日の設定

- ・ 学期中は、原則として平日に週1日(年間52日)以上、週末又は祝日に月1日(年間12日)以上、学校閉庁日(年間9日)を休養日とし、年間73日以上を設定
- ・ 定期考査1週間前及び定期考査中(最終日を除く)の部活動は原則禁止  
原則以外:公式大会が定期考査直近1週間以内に開催される場合は生徒会への届け出を経た後1時間程度の練習を認める。
- ・ 1日の活動時間は長くとも3時間程度、休業日は4時間程度とし、1週間の活動時間は長くとも16時間程度とする。
- ・ 休養日に練習試合・大会等が入った場合は、別日に休養日を設ける。
- ・ 長期休業中は学期中の休養日の設定に準じる。
- ・

※ その他特別な案件については、その都度審議をする。

### □ 今後の課題

- ・ 参加大会を精査し、生徒・顧問の負担軽減を図る。
- ・ 練習時間・内容を見直し、合理的、効果的・効率的な練習内容の構築を図る。
- ・ 日々の練習にメリハリを付け、生徒のモチベーションの維持、向上を図る。

### □ 相談・要望窓口

- ・ 担当: 教頭 茂木
- ・ 連絡先: [sit-z0@hokkaido-c.ed.jp](mailto:sit-z0@hokkaido-c.ed.jp)